

岡本眸の冬の句

賀状みな命惜しめと諭しをり
身ひとつやとくに寒氣を恃みとし
寒波来川は細身にひるがへり
寒林や花のごとくに夜の雲
道に出て二階と話す寒日和

松岡隆子 抽